

令和2年度第2回 安曇野市まちづくり推進会議 会議概要

- 1 審議会名.....令和2年度第2回安曇野市まちづくり推進会議.....
- 2 日 時.....令和3年3月25日(木) 午後1時30分～午後3時30分.....
- 3 会 場.....安曇野市役所本庁舎 会議室401.....
- 4 出席者.....田村会長、熊井副会長、大澤副会長、中楨委員、吉原委員、沼尾委員、磯野委員、川井委員、矢ノ口氏(青柳委員の代理).....計9名
- 5 市側出席者.....地域づくり課高橋課長、児玉課長補佐、寺島主任、土屋地域おこし協力隊員
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人 0人.....記者 0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....令和3年4月8日.....

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 協議事項
  - ① 「区の意義や重要性の理解促進について」の進捗状況
- (4) その他
- (5) 閉会

2 会議事項概要

- (1) 開会(熊井副会長)
- (2) あいさつ(田村会長)
- (3) 協議事項
  - ① 「区の意義や重要性の理解促進について」の進捗状況

※事務局より進捗状況の説明

【会長】

・市区長会長としてご苦労いただいた中楨委員から補足説明をいただきたい。

【委員】

・私が区長を務める真々部区には約100戸の集合住宅があるが、いずれも区には加入していない。集合住宅に住んでいる人は濃密な隣近所の関係を嫌う傾向にあるようだ。

・市区長会加入促進部会では、区未加入者を無理に加入させるより相手から加入したいと申し出があった時に検討するという意見もあった。

【会長】

・集合住宅の住民には強く加入を求めるものではないという意見は以前から上がっている。

・加入率向上と住民満足度向上の両方のバランスを保つことは難しい面がある。

【事務局】

・市区長会加入促進部会では「加入率という数字にこだわりすぎるのは良くない」「加入率は大切だが1番の目標にするのはどうか」といった意見も上がった。加入率という数字を追い求めるだけではなく、魅力ある区にしていくことを考えることが重要だとの考えでまとまった。

**【会長】**

・加入率は最優先事項ではないかもしれないが、数字で表れるため向上を目指していくとともに内容の分析をしていく必要がある。地域ごとに見ても穂高地域は他地域より加入率が低いため、地域ごとの対策も違ってくるだろう。

**【委員】**

・当事者である区長自身が「数字にあまりこだわらなくても良い」という考えを持つことは大変良いのではないか。この考えは市区長会としての考え方として公表するのか。

**【事務局】**

・市区長会に設置している一つの部会で議論された報告だと理解してほしい。現在は市区長会理事会に報告している段階で止まっており、各地域区長会に下ろす段階まで至っていない。

**【副会長】**

・住みやすく活動しやすい区を構築していくために力を注いでいこうという考えは、以前から言われていることだ。その考え方が引き継がれていないため、振り出しに戻って議論を繰り返すことになってしまっている。市区長会理事会で報告したのであれば、理事会でどう捉え、市区長会としてどう進めていくか考える必要がある。

**【事務局】**

・区長が毎年変わってしまうため、事務局として確実に引き継いでいきたい。

**【委員】**

・区は助け合っていくための組織。自分たちが住んでいる地域を良くするため、区に加入することはある程度仕方ないことではないか。加入率を他地域と比較したり数字にこだわったりする必要はないが、常に加入率を向上させようとする視点は大切だ。

**【副会長】**

・加入促進はしていかなければならないが、加入率だけにこだわる必要はない。

**【委員】**

・例えば、加入率が100%でも互いに知らない人同士の区は住みやすいか。結果として加入率の向上につながれば良いが、加入率の問題ではなくいざというときに助け合える関係があるかないか。加入促進の一つのポイントは、現在の区の課題を具体的に解決していく取り組みを一步一步進めていくことではないか。

**【委員】**

・行政による補助金制度があるが、どういった事業ならば活用できるなどPRの方法を工夫した方が良い。

**【委員】**

・区マニュアルに各種補助制度を掲載したが、各区長が理解できるような勉強会を開いていかなければならない。区マニュアルを本棚に入れたままというのが実情ではないか。市区長会が、各区長に対してもっと活用できるよう働きかけてほしい。

**【委員】**

・区への加入促進で母親の集まりを活用することは大切だ。世代が変わっていても、母親が集まる行事があることで子どもたちも自然と参加できるようになる。

**【委員】**

・加入率という数字にこだわらないことは結構だ。何のために区に入ってもらおうか考えることが最も大切だ。転入者にいきなり区に入ってくれと話しても抵抗感を持ってしまう。いかに区の意義や重要性を説明できるかにかかっている。隣組長が勧誘の仕方を勉強してスキルアップするなど、区の意義や重要性の理解促進に向けた取り組みをもう一度見直していただきたい。

**【会長】**

・区への新規加入の推移は分かるか。

**【事務局】**

・推移は分析できていない。

・新規加入について区の規模の大小で現状が異なる傾向にあると聞いている。小さい区は隣組の単位がしっかりしていて、転入者が来れば隣組から区役員に情報が上がる。大きい区は転入してきても区長に報告されずに何年もたつという話を聞いた。隣組といった小さい単位でいかにうまくまとまるかが加入を左右している。

**【会長】**

・加入促進に勧誘も区長の大きな役割だということを、各区長に周知させてほしい。

**【委員】**

・若い世帯に新しく区に加入してもらうことは難しい面があるため、区を理解している同世代の人に勧誘してもらうのも一案だ。区の加入促進マニュアルも、アニメを活用するなど若い人に向けた改善が必要ではないか。

**【委員】**

・区加入の勧誘を巡り、執拗な場合は罰金刑になるとの事例もある。

**【副会長】**

・勧誘を尻込みしてしまうことは良くないが、無用の摩擦を生じないように市区長会から各区長に勧誘の方法を教育していただきたい。

**【会長】**

・意見は以上として協議を終えたい。

(4) その他

**【事務局】**

・来年度の会議日程は決まり次第、開催通知を送付する。

(5) 閉会（大澤副会長）